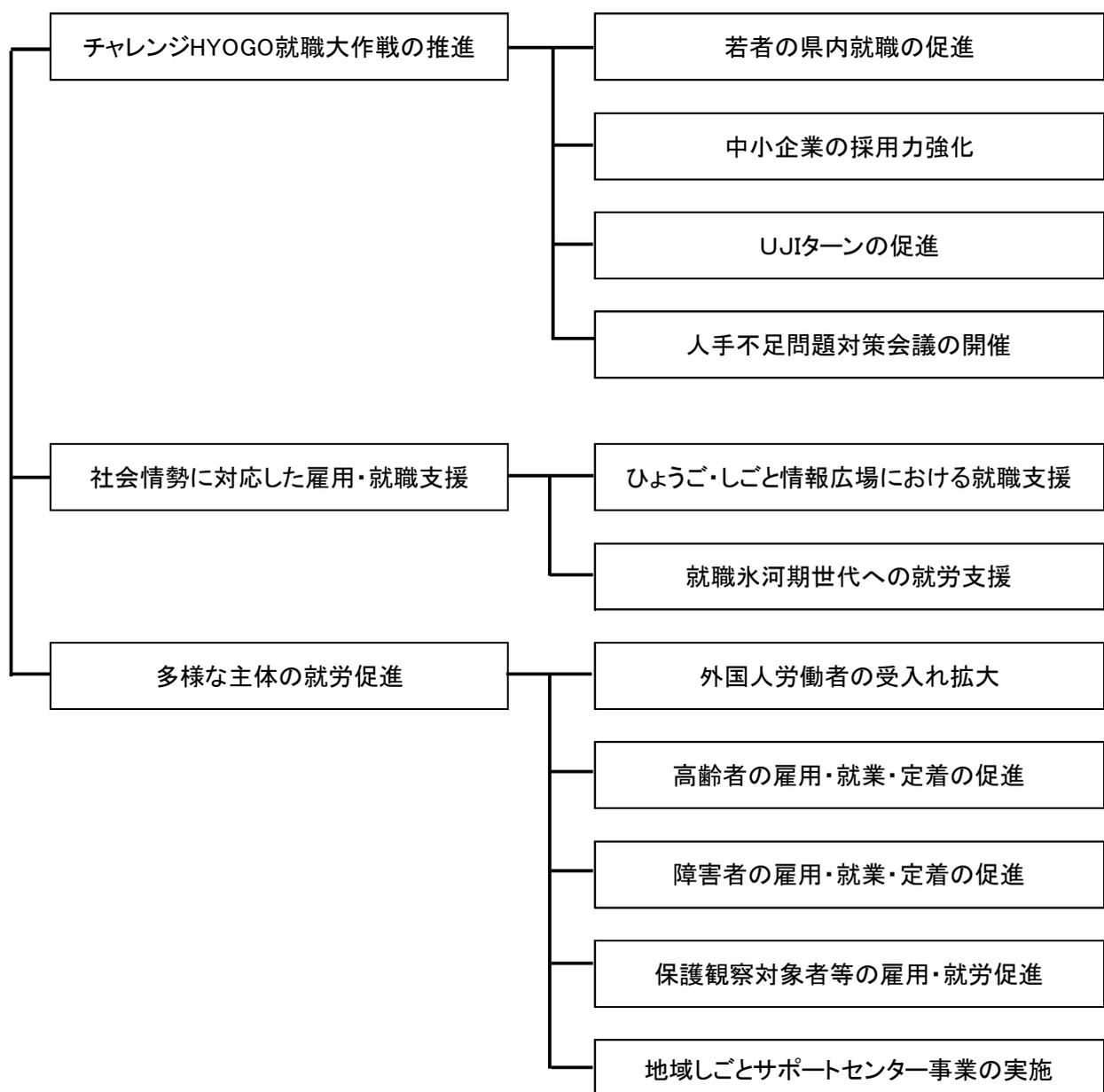


雇用・就業支援の向上について

	ページ
令和5年度 労政福祉課 施策体系表.....	2
I 雇用を巡る現状	3
1 本県の雇用情勢.....	3
2 本県の人口流出の状況.....	4
3 県内大学卒業者の就職状況.....	4
4 本県の就労対策に係る合同企業説明会等一覧.....	4
II チャレンジHYOGO就職大作戦の推進	5
1 若者の県内就職の促進.....	5
2 中小企業の採用力強化.....	8
3 UJIターンの促進.....	10
4 人手不足問題対策会議の開催.....	13
III 社会情勢に対応した雇用・就職支援	14
1 ひょうご・しごと情報広場における就職支援.....	14
2 就職氷河期世代への就労支援.....	15
IV 多様な主体の就労促進	17
1 外国人労働者の受入れ拡大.....	17
2 高齢者の雇用・就業・定着促進.....	18
3 障害者の雇用・就業・定着促進.....	19
4 保護観察対象者等の雇用・就労促進.....	23
5 地域しごとサポートセンター事業の実施.....	24

令和5年度 労政福祉課 施策体系表

(雇用・就業支援の向上について)



I 雇用を巡る現状

1 本県の雇用情勢

有効求人倍率が令和4年6月以降、1倍を超えて推移するなど、雇用情勢は新型コロナウイルス感染症による影響から改善傾向にある一方で、足下では有効求人倍率が1倍をわずかに下回るなど、持ち直しの動きにやや弱さがみられる。物価上昇等が雇用に与える影響に引き続き注意する必要がある。

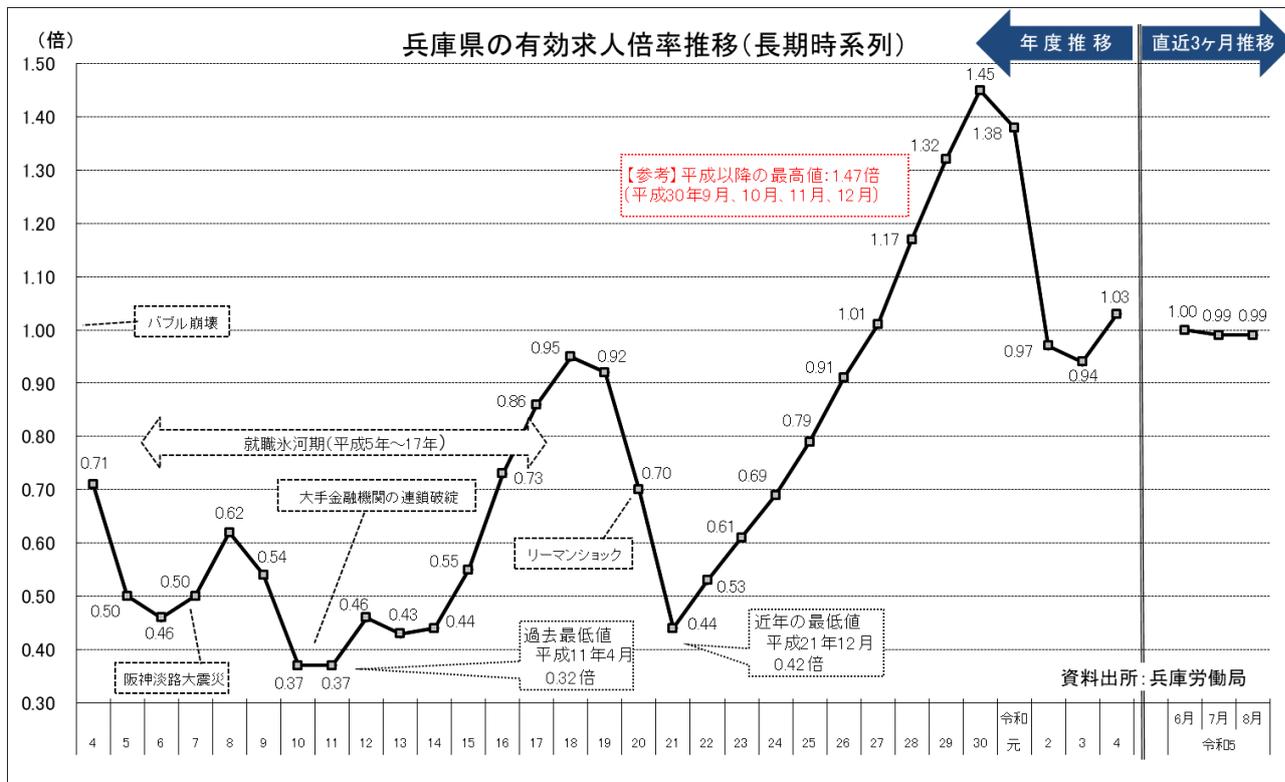
※全国1.29倍、近畿1.19倍（8月）

【有効求人倍率等の推移】

（単位：倍、人）

区 分	年度平均					直近3か月		
	H30	R1	R2	R3	R4	6月	7月	8月
有効求人倍率	1.45	1.38	0.97	0.94	1.03	1.00	0.99	0.99
（就業地別）	1.56	1.49	1.02	1.04	1.16	1.15	1.14	1.15
有効求人数	104,075	98,234	76,824	80,846	86,426	82,626	82,703	82,475
有効求職者数	71,961	71,398	79,387	86,313	84,013	82,705	83,360	83,018

兵庫労働局調べ



兵庫労働局調べ

2 本県の人口流出の状況

近年、6,000～7,000人程度の転出超過が続いており、特に20歳代が拡大している。

【本県の人口転出入数の推移】

区 分	H30	R1	R2	R3	R4	R4－H30
転 入	86,414人	85,647人	83,526人	83,089人	84,235人	▲2,179人
転 出	92,502人	92,907人	91,049人	89,309人	90,225人	▲2,277人
転入超過	▲6,088人	▲7,260人	▲7,523人	▲6,220人	▲5,990人	▲463人
うち20～29歳	▲6,690人	▲7,098人	▲8,832人	▲7,962人	▲8,327人	▲1,637人

住民基本台帳人口移動報告

3 県内大学卒業者の就職状況

県内大学卒業者の約7割が県外の企業へ就職する状況が継続している。

【県内大学卒業者の就職先】

区 分	H29(H30.3卒)	H30(H31.3卒)	R1(R2.3卒)	R2(R3.3卒)	R3(R4.3卒)	R4(R5.3卒)
県 内	29.0%	28.4%	28.2%	29.8%	29.4%	28.8%
県 外	71.0%	71.6%	71.8%	70.2%	70.6%	71.2%

兵庫県総務部教育課調べ

4 本県の就労対策に係る合同企業説明会等一覧

説明会等名称	R4		R5		詳細記載 ページ
	参加企業数	延べ参加人数	参加企業数	延べ参加人数	
大学生低学年向け県内企業とのプレマッチング支援事業	20社	295人	20社	65人	P6
理工系学生と県内製造業企業との合同交流会	22社	29人	(今後実施)		P7
首都圏の学生等を対象とした交流会やワークショップ	18社	91人	18社	84人	P11
大阪でのU J I ターン合同企業説明会	80社	259人	(今後実施)		P12
WEB合同企業説明会	—	—	46社	160人	P12
県内出身者のUターン就職のための企業魅力発信フェア	73社	273人	30社	90人	P13
			(WEBを今後実施)		
保護者向け就活セミナー	5社	29人	(今後実施)		P13
大学生を対象とした全県版就職面接会	53社	136人	53社	86人	P13
就職氷河期世代向け合同企業説明会	30社	125人	(今後実施)		P16
離職者向け合同企業説明会	30社	50人	30社	100人	P16
合 計	331社	1,287人	197社	585人	—

Ⅱ チャレンジHYOGO就職大作戦の推進

1 若者の県内就職の促進

(1) 高校・大学生「兵庫就活」促進事業

(令和5年度予算17,589千円)

① 高校生対象

県内企業の情報を掲載した企業ガイドブックを県内高校に配布し、県内企業の魅力を発信

〈配布対象〉 県内全高校

〈発行部数〉 10,000部

(※WEB版も作成・掲載)

〈配布時期〉 令和6年2月

〈掲載企業数〉

県下を7地域に分けて作成

地域企業：1 県民局・県民センターあたり30社

共通企業：ア 大学生が紹介する兵庫の企業 (10社)

イ 学生に知ってもらいたい注目の企業 (20社)

ウ ダイバーシティ&インクルージョン

(誰もが働きやすい職場づくり) (10社)

計340社



【高校生向け企業ガイドブック】

② 大学生対象

大学生が県内企業への理解を深めるため、企業ガイドブック (WEB版)「ひょうご企業就活!ガイド」を作成・掲載

令和4年度 40社 (兵庫県、神戸新聞社のホームページに掲載)

③ Instagramによる情報発信

共通企業40社について情報発信

(2) 大学生インターンシップ推進事業

(令和5年度予算21,369千円)

中小企業の人材確保を図るため、大学生等を対象にインターンシップを実施

① インターンシップの推進

〈事業内容〉

県・商工会議所・経営者協会等による連絡協議会の設置

大学生等インターンシップの実施

「兵庫県インターンシップシステム」サイトで通年受付

〈実施主体〉 兵庫県経営者協会・兵庫工業会

【実績】(令和5年8月末時点)

年度	大学数	参加者数	受入企業数
R4	81大学	308人	59社
R5	28大学	104人	35社

② 低学年向け企業見学会の実施

〈実施時期〉 8～9月（別途、事前研修（7月）・事後報告会（10月）も実施）

【実績】

年度	実施大学	参加者数	受入企業数
R5	甲南大学	55人	6社

③ インターンシップ参画企業とのマッチング会の開催

複数の県内企業と幅広く出会うことで、魅力を知るきっかけをつくり、県内企業へのインターンシップへの参加を促進

【実績】

年度	開催日	実施方法	参加者数	参加企業数
R4	6月5日	対面	93人	20社
R5	6月10日	対面	54人	20社

(3) 大学生低学年向け県内企業とのプレマッチング支援（令和5年度予算8,907千円）

主に1、2年生の学生に対し、就職活動前から、県内の企業の研究やキャリア相談を通してキャリアプランニングに取り組むことを支援し、男女双方が互いの働き方や考え方を理解することで県内就職を促進。

① 企業研究・フォーラムの開催

学生（80名程度）を公募し、4名程度のグループを形成

各グループが企業研究の上、成果をフォーラムで発表（8・9月、11月）

② キャリア相談の実施

上記①と併行して、企業研究参加の学生に対し、ライフプランを考慮した個別のキャリア相談を実施

【実績】（令和5年8月時点）

年度	参加学生数	参加企業数	主な課題研究テーマ	開催日	内容	参加者数
R4	82人	20社	<ul style="list-style-type: none"> 女性が管理職になるための必要な支援 販社が実現可能なSDGsの取組 ファンマーケティングの企画運営プロジェクト 	8・9月	社内報告	142人
				12月4日	最終フォーラム	153人
R5	88人	20社	<ul style="list-style-type: none"> 女性が働き続けたい職場とは 地方創生に寄与するためにできること 性別の違いを障壁にしない仕事環境を作るには など 	8・9月	社内報告	65人
				11月26日（予定）	最終フォーラム	—



【フォーラムの様子】



【キャリア相談の様子】

(4) 理工系人材の獲得促進事業

(令和5年度予算7,385千円)

県内外の理工系大学及び学生と、県内の製造業を営む中小企業との情報交換やマッチング機会を創出し、理工系人材の獲得を支援

① 企業と理工系大学との就職情報交換会

県内の製造業を営む中小企業と県内外の理工系大学とのパイプを作るため、オンラインによる就職情報交換会を開催

【実績】

年度	開催日	参加大学数	参加企業数
R4	6月2日	8校	19社
R5	7月26日	11校	15社

② 学生との合同交流会

理工系学生に県内の製造業を営む中小企業の魅力を知ってもらうため合同交流会を開催

【実績】

年度	開催日	開催地	参加企業数	参加学生数
R4	7月3日	神戸	14社	14人
	7月10日	姫路	8社	15人
R5	11月17日	姫路	15社(予定)	—
	1～2月	神戸	15社(予定)	—

(5) 大学との就職支援協定等の締結

大学生の県内企業及びU J I ターン就職を促進するため、全ての県内大学と県出身者の多い首都圏等の大学と協定を締結し、学生に県内企業の情報等を提供

〈県内大学締結〉

36校(県内全大学)

〈県外大学締結〉

15校(東洋、中央、東京農業(包括連携協定)、近畿、日本、東海、京都女子、大谷、岡山理科、広島工業、京都産業、京都橘、国士舘、創価、同志社)

〈協定の内容〉

連携・協力して取り組む事項

- ① 学生、保護者等に対する県内の企業情報、各種イベント等の周知
- ② 大学内で行う合同企業説明会等の開催(県内企業の参加)
- ③ 学生及び卒業生の就職に係る情報把握
- ④ 県内の企業等におけるインターンシップ実施への支援
- ⑤ U J I ターン就職支援(県外大学)

2 中小企業の採用力強化

(1) 県内企業人材確保支援事業（兵庫型奨学金返済支援制度）

（令和5年度予算93,729千円）

県内中小企業の人材確保、若者の県内就職及び定着の促進のため、奨学金返済支援制度を構築した中小企業と連携し、若者の奨学金の返済を支援

<補助対象>

- ア 本社が県内にあり、従業員の奨学金返済負担軽減制度を設ける中小企業
- イ 京都府就労・奨学金返済一体型支援事業を実施する企業（京都本社に限る）の県内事業所

<支援対象>

上記企業に勤める者で、以下の要件を全て満たす者

- ア 30歳未満の正社員の者
- イ 日本学生支援機構の奨学金を受給し返済義務のある者
- ウ 当該企業就職後5年以内である者
- エ 申請時点で県内事業所に勤務する者

<支援期間>

対象者1人につき、最長5年

<補助額>

支援対象者の奨学金年間返済額の2/3（上限12万円/年）

<実施方法>

（一財）兵庫県雇用開発協会で実施

【補助スキーム】

負担割合 企業：県：本人＝1：2：0

1/3 企業	2/3 県
-----------	----------

【実績】（令和5年8月末時点）

年度	制度導入企業	交付決定対象者数
R4	212社	582人
R5	238社	414人

(2) 中小企業採用力強化支援事業

(令和5年度予算3,702千円)

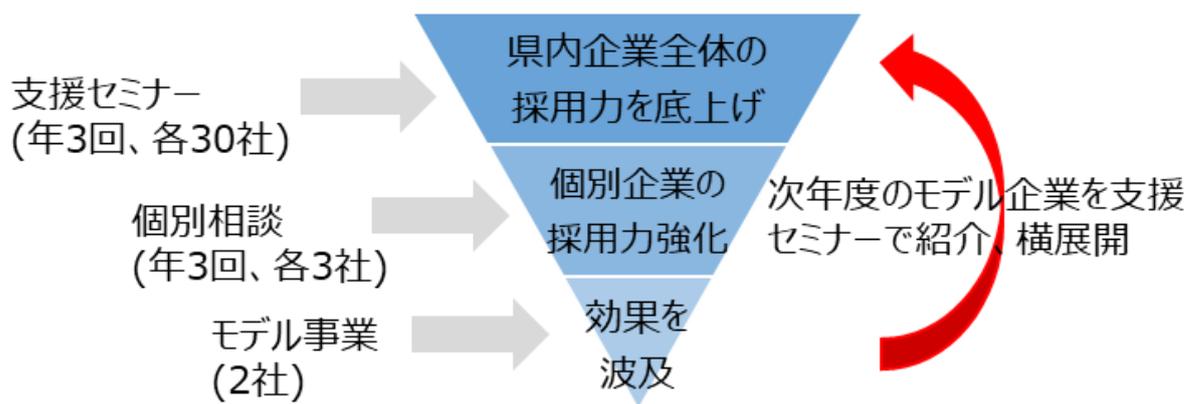
就職市場における売り手優位が続く中、中小企業の採用力を強化し県内企業への就職を促進

〈実施内容〉

- ・採用力強化支援セミナー（3回）
- ・個別相談（3回）
- ・モデル企業の創出・成功事例の展開（次期セミナーで取組紹介 等）

【実績】

年度	開催日	場 所	テーマ	参加企業数
R5	8月21日	センタープラザ西館 (神戸市中央区)	新卒採用基礎力向上セミナー	73社
	9月21日	アクリエ姫路 (姫路市)	新卒採用基礎力向上セミナー	60社
	10月12日	センタープラザ西館	中小企業の人材不足の 経営課題解決セミナー	68社



[セミナーの様子]

3 UJIターンの促進

(1) 「カムバックひょうご就職支援センター」の運営 (令和5年度予算19,711千円)

東京圏における移住情報発信と、UJIターン促進の拠点であるカムバックひょうご東京センターに令和5年4月からカムバックひょうご就職支援センターを併設し、民間の柔軟な発想と企画力を生かした広報力強化と首都圏ニーズに合ったイベント等を実施

〈設置場所〉 東京都有楽町交通会館（ふるさと回帰支援センター内）

〈開所日〉 週6日（火～日）（月・祝日は定休）

〈事業内容〉
 ア 兵庫県内への就職希望者へニーズの合った求人情報等を提供
 イ 首都圏大学と連携した兵庫県内企業の広報
 ウ 首都圏で開催される就職関連行事で行う就職支援
 エ 移住希望者向けミニセミナー、県内企業等との交流会の実施
 オ 県関連機関と連携した就職支援情報の提供 等

【実績】（令和5年8月末時点）

年度	就職相談件数	イベント申込件数
R5	121件	58件



【相談対応の様子】

(2) おためし企業体験 in HYOGO (令和5年度予算28,086千円)

首都圏在住求職者や就職氷河期世代等の不安定就労者等に対し、おためし企業体験を通じ、適性にあった企業への就職を支援

① 企業体験

項目	実施概要
ア ミニ体験コース	数時間～1日程度の職場見学、企業説明、社員との交流会、就職支援セミナー等を実施
イ 職場体験コース	数日間の職場体験（職場体験、業務実習等）を実施
ウ おためし入社コース	1週間～1か月程度の就業体験を実施 体験後、企業と体験者双方の合意があれば本採用
エ オンライン体験コース	オンラインでの企業説明、社員との交流会や職場体験を実施
オ 首都圏参加者向け支援	首都圏向け広報、セミナー開催を通じた転職希望者の掘り起こしや、ニーズに合わせた個別調整、来県時のフォローアップ等を実施

② 滞在支援オプション

〈内容〉 首都圏からの参加者に対し、体験中の短期滞在費及び来県旅費を助成

〈補助率〉 1/2

〈補助金額〉 短期滞在費：上限12万円/回（4千円/泊）、来県旅費：上限2万円/回

③ 企業インセンティブ

〈内容〉 職場体験等の受入企業に謝金を支給し、首都圏からの参加者及び就職氷河期世代の参加者を正規雇用として採用した企業に対し支援金を支給

〈支給金額〉 受入企業謝金：2万円/回、採用時の支援金：10万円/人

【実績】 登録企業数238社、体験者数92人（令和5年8月末時点）

(3) ひょうごで働こう！ UJI ターン広報・就職促進事業（令和5年度予算55,432千円）

大学生・転職者等の県内就職を促進するため、県内企業の魅力や求人情報を発信し県内企業と若者のマッチング及び東京23区からの移住を伴う就業等を支援

① 「ひょうごで働こう！マッチングサイト」の運営

関連施策情報や県内企業の魅力及び求人情報を掲載するため、「ひょうごで働こう！マッチングサイト」を運営。広報強化に取り組み、県内就職に繋げる

〈掲載内容〉 ア ひょうご応援企業、WLB認定企業等の求人情報

イ 県内企業の魅力紹介

ウ 「チャレンジHYOGO就職大作戦」関連施策情報

エ 暮らし情報や移住の先輩コメント等兵庫の魅力紹介

〈広報手段〉 ア サイトと連動したスマホアプリを活用した情報発信

イ 就職支援協定締結大学の学生等に対する広報

〈企業支援〉 ア 求人広告作成に関するセミナーの開催

（9/12神戸、10/19姫路、8/29・11/16オンライン会場）

イ 求人広告・採用ページ作成の個別指導・作成支援

【実績】

求人情報掲載件数 約447件（令和5年8月末時点）

累計登録法人数1,168社、累計掲載求人数3,684件（令和元年から）

② 首都圏の学生等に対する県内就職の促進

県内企業への就職・転職のきっかけとなるよう、首都圏へ流出した学生・転職希望者等と県内企業の人事担当者や実際に活躍している社員等ロールモデルによる交流会やワークショップを、オンラインも含めたハイブリッド方式で実施

〈対象者〉 首都圏在住学生、第二新卒者、転職希望者等

〈回数〉 年6回程度

〈場所〉 Mポート（みなと銀行東京支店内）、首都圏就職支援協定締結大学等

【実績】（令和5年8月末時点）

年度	回数	参加企業数	参加者数
R4	6回	18社	91人
R5	6回（予定）	18社（予定）	84人 [※]

※R5年度参加者数は8月末時点で全6回中5回実施済の数値。



〔首都圏在住の学生と県内企業の交流会の様子〕

③ 移住支援金の支給

就業・起業による移住や中小企業の人材確保を促進するため、マッチングサイトを通して東京圏から移住した者等に移住支援金を支給

〈支給要件〉

以下の要件を全て満たす者

ア 直近10年間のうち通算5年以上東京23区に在住または通勤していた者

イ 移住後5年以上の継続居住意思のある者

ウ 県が支援対象と認めた企業に就職した者または社会的分野の起業をした者等
(専門人材、テレワーカーを含む)

〈補助単価〉 1,000千円／世帯、600千円／単身

【実績】 25件（令和4年度）、8件（令和5年8月末時点）

(4) 合同企業説明会等の開催

(令和5年度予算18,325千円)

① 大阪でのU J I ターン合同企業説明会

大学卒業時の県内就職と県外からのU J I ターン就職促進に向け、県外での合同企業説明会等を開催

【実績】(新卒向け)

年度	開催日	参加企業数	参加者数
R4	6月20日	30社	106人
	3月15日	50社	153人
R5	3月16日(予定)	一社	一人



[U J I ターン合同企業説明会の様子]

② WEB合同企業説明会

WEB方式による合同企業説明会を開催し、多くの企業情報提供の場を設け、県内外の学生とのマッチング機会を創出

【実績】

年度	開催日	参加企業数	参加者数
R5	6月14日・15日	46社	160人

※R4は開催実績無し

③ 県内出身者のUターン就職のための企業魅力発信フェア

主に大学3年生を対象として県内企業による情報発信を行うフェアを開催し、就職活動の本格的な開始前から、本県出身者が県内企業の魅力を知る場を提供

【実績】(大学3年生向け)

年度	開催地(開催日)	参加企業数	参加者数
R4	神戸(8月18日)	29社	162人
	WEB(12月10日)※	44社	111人
R5	神戸(8月30日)	30社	90人
	WEB(2月19日予定)※	一社	一人

※ワーク・ライフ・バランス表彰企業限定

④ 保護者向け就活セミナー

学生の就職に大きな影響を与える保護者を対象として、就職活動への関わり方や県内企業の魅力を伝えるセミナーを開催

【実績】

年度	開催地(開催日)	参加企業数	参加者数
R4	神戸(2月19日)	5社	29人
R5	神戸(2月頃予定)	—	—

(5) 県内での合同企業面接会等の開催

(令和5年度予算1,686千円)

県内中小企業等の人材確保に向け、大学生を対象とした全県版就職面接会を開催
 <実施方法> (一財)兵庫県雇用開発協会に委託

【実績】(令和5年8月末時点)

年度	開催地	開催日	参加企業数	参加者数
R4	神戸市内	7月5日	53社	136人
R5	神戸市内	7月4日	53社	86人



[合同企業面接会の様子]

4 人手不足問題対策会議の開催

(地域経済課、地域産業立地課、国際課、観光振興課と共管)

実際に人手不足に直面する中小企業の経営者や有識者の参画の下、多様な人材確保や企業の生産性向上など人手不足問題への対策について議論を進め、県での事業化を念頭に、課題と取組の方向性を深掘りする。

<内容> 課題整理と施策方向性の検討

学卒者・外国人雇用、多様な人材の確保、観光産業の雇用、DX・リスキリング 等

<回数> 3～4回

Ⅲ 社会情勢に対応した雇用・就職支援

1 ひょうご・しごと情報広場における就職支援

(1) ひょうご・しごと情報広場における就職支援 (令和5年度予算72,997千円)

① ワンストップサービスの提供

就職を希望する者に対し、世代に応じた就職相談を実施するとともに、就活トレーニングや各種セミナー、就業マッチングを通じて、就職までの一貫したワンストップサービスを提供

<開設場所> 神戸クリスタルタワー12階

<開設時間> 10:00～19:00 (土日祝日は除く)

<実施方法> (一財)兵庫県雇用開発協会に委託

※ 神戸ハローワーク若者職業相談窓口と新卒応援ハローワークが併設され一体的に運営 (兵庫労働局と連携)

ア 若者しごと倶楽部の運営

学生やフリーターなど概ね39歳までの若年者を対象とした就職活動支援を実施 (厚生労働省若年者地域連携事業(ジョブカフェ)と一体的に実施)

<事業内容>

(ア) キャリアカウンセリング

(イ) 高校・大学、企業担当者向けセミナー

(ウ) 就活トレーニングから新入社員モチベーションアップに至る各種セミナー

(エ) ハローワークの求人情報検索端末機による職業紹介



[求人検索の様子]



[就活トレーニングの様子]

イ ミドル世代就労相談窓口の設置 (詳細: P15)

専門的な相談を受ける就労相談窓口を設置し、就職氷河期世代を含む年齢層である、ミドル世代 (40～64歳) を対象とした正規雇用化を促進

ウ シニア世代就労相談窓口の設置 (詳細: P18)

就労意欲のあるシニア世代 (65歳以上) がライフスタイルや能力に合わせて活躍できるよう、就労希望者のマッチングを支援

【しごと情報広場利用実績】（令和5年8月末時点）

	相談件数（件）				就職内定者数（人）			
	若者	ミドル	シニア	計	若者	ミドル	シニア	計
R4	13,545	2,041	170	15,756	2,016 [1,560]	49 [18]	9 [0]	2,074 [1,578]
R5	5,639	657	56	6,352	963 [891]	12 [3]	4 [0]	979 [894]

※ [] 内に正規雇用者数を記載

② 「ひょうご応援企業」の登録、情報提供

県内で就職を目指す若者を積極的に採用する企業を「ひょうご応援企業」として登録、ホームページや企業説明会で企業情報を提供

＜実施方法＞ （一財）兵庫県雇用開発協会に委託

＜登録企業数＞ 648社（令和5年8月末時点）

2 就職氷河期世代への就労支援

(1) ミドル世代就労相談窓口の設置（再掲：P14）（令和5年度予算12,286千円）

「ひょうご・しごと情報広場」において、専門的な相談を受ける就労相談窓口を設置し、就職氷河期世代を含む年齢層であるミドル世代（40～64歳）を対象とした正規雇用化を促進

- ＜事業内容＞
- ① キャリアカウンセリング
 - ② レベルアップ就職プログラムの実施
 - ③ ミニマッチング会の開催

【実績】（令和5年8月末時点）

年度	相談件数	就職者数
R4	2,041件	49人
R5	657件	12人

(2) 就労支援プログラム事業（令和5年度予算14,328千円）

就職氷河期世代の就職活動を支援するため、企業面接準備研修や就労体験を行い、正規雇用につなげる人材育成プログラムを実施

＜事業内容＞ 研修（1ヶ月 賃金約15万円支給）＋ 就職支援（最長3ヶ月）

＜実施方法＞ 民間事業者等に委託

＜対象者＞ 就職を目指す就職氷河期世代の未就職者等（52歳まで）

【実績】（令和5年8月末時点）

年度	内 訳	目標人数	参加者数	就職に結びついた人数 （うち正規雇用）
R4	就職氷河期世代就労支援プログラム	30人	22人	16人（8人）
R5	就職氷河期世代就労支援プログラム	30人	5人	全4回予定中1回開催

(3) 就職氷河期世代向け合同企業説明会 (令和5年度予算4,216千円)

就職氷河期世代の就職促進を図るため、合同企業説明会を開催

【実績】(令和5年8月末時点)

年度	開催地(開催日)	参加企業数	参加者数
R4	神戸(12月13日)	30社	125人
R5	神戸(12月12日予定)	30社(予定)	—

(4) 離職者向け合同企業説明会 (令和5年度予算2,902千円)

新型コロナウイルス感染症の影響等による離職者の就職促進を図るため、合同企業説明会を開催

【実績】

年度	開催地(開催日)	参加企業数	参加者数
R4	神戸(10月10日)	30社	50人
R5	神戸(9月11日)	30社	100人

(5) ニート就労支援ネットワーク事業 (令和5年度予算1,210千円)

支援機関がネットワークを構築し、若年無業者に対する効果的な支援について情報交換や検討を行うとともに、支援機関が行うセミナーやボランティア体験の提供を支援

【実績】(令和5年8月末時点)

年度	自立就職支援セミナー	職場体験	ボランティア体験
R4	235人	29人	187人
R5	21人	6人	88人



[離職者向け合同企業説明会の様子]

IV 多様な主体の就労促進

1 外国人労働者の受入れ拡大

(1) 外国人留学生に対する県内企業の魅力発信 (令和5年度予算 7,598千円)

県内中小企業の人手不足に対応するため、日本企業への就職意欲が高い外国人留学生を対象とした人材確保策を実施

① 合同企業説明会

就職活動中の外国人留学生を対象とした合同企業説明会を神戸市と共同開催

〈開催日〉 令和5年6月21日

〈開催場所〉 神戸サンボーホール

〈参加企業〉 神戸市内企業34社、県内の神戸市外企業27社

〈参加者数〉 817名

② 兵庫の企業魅力発信フェア

一定の日本語能力を有する外国人留学生に対し、県内企業の魅力を伝えるフェアを開催

〈開催日〉

令和6年2月予定

〈開催場所〉

大阪市内

〈参加企業〉

県内企業30社程度



[企業魅力発信フェアの様子]

(2) 県内外国人就労支援 (令和5年度予算11,372千円)

① 外国人雇用HYOGOサポートデスクの運営

外国人材の受入を希望する企業に対して、円滑な外国人雇用を支援するため、外国人雇用に関する制度理解を進め、相談等を行うサポートデスクを運営

〈実施方法〉 兵庫県経営者協会へ委託

ア 相談窓口の運営

〈対象〉 外国人を雇用している、または雇用を希望する県内企業

〈実施方法〉 対面、電話による相談

〈相談内容〉 在留資格、外国人雇用制度

業務内容・人事労務管理上の留意点の相談・助言

〈相談体制〉 雇用相談員（2名：企業人事・労務管理担当者OB等）

専門アドバイザー（予約制：行政書士、社会保険労務士）

〈設置場所〉 ひょうご・しごと情報広場内（神戸クリスタルタワー12階）

〈相談日時〉 週5日（月～金）、10時～17時

【実績】 R4年度：660件

R5年度：90件（R5.8末時点）

イ 外国人雇用セミナーの開催

〈対 象〉 外国人雇用に関心のある企業、外国人を雇用している企業

〈実施回数〉 年2回程度

〈実施内容〉 外国人雇用制度説明、雇用先進事例紹介等

【実績】 R4年度：2回開催、120人参加

R5年度：2回開催予定

2 高齢者の雇用・就業・定着促進

(1) 高齢者の就労支援

〈高齢者の就業状況〉

平成29年度就業構造基本調査における本県の65～74歳の有業率は、32.7%であり、平成24年の同調査と比較すると4.4ポイント上昇している。

① シルバー人材センター事業の推進 (令和5年度予算10,254千円)

定年退職後等の高齢者の多様な就業機会を確保するため、県内34のシルバー人材センターを指導・育成する(公社)兵庫県シルバー人材センター協会の運営を支援

【会員数等】 (34団体の合計、令和5年6月末時点) ※会員数は全国4位

年度	会員数 (人) ①	就業実人員 (就業率%) ②	就業延人員 (人日) ③	一人あたり就業日数 (日) ③/①
R4	40,240	30,239 (75.1%)	3,519,786	87.5
R5	40,397	25,983 (64.3%)	857,688	21.2

② シニア世代就労相談窓口の設置 (再掲：P14) (令和5年度予算6,578千円)

「ひょうご・しごと情報広場」において、就労意欲のあるシニア世代(65歳以上)がライフスタイルや能力に合わせて活躍できるよう、就労希望者のマッチングを支援

〈事業内容〉

- | | |
|----------------|------------------|
| ア キャリアカウンセリング | イ 短時間勤務の職業紹介 |
| ウ 1日程度の体験就業の実施 | エ 短時間勤務のしごと切出し支援 |

【実績】 (令和5年8月末時点)

年度	相談件数	就職件数	体験就業協力企業	しごと切出し件数
R4	170件	9人	3社	67件
R5	56件	4人	4社	21件



[シニア世代就労相談の様子]

3 障害者の雇用・就業・定着促進

〈障害者雇用の状況〉

本県における障害者の雇用状況については、令和4年6月1日現在の県内企業の障害者雇用率は2.28%で、前年を0.03ポイント上回るなど着実に進展しているが、法定雇用率2.3%は達成できなかった。また、法定雇用率を達成している企業の割合も50.5%にとどまっている。

(1) 障害者を雇用する企業への支援

① 特例子会社・事業協同組合設立等助成金事業（令和5年度予算14,830千円）

中堅・中小企業による特例子会社・事業協同組合の設立や、特例子会社・事業協同組合による障害者新規雇用に要する施設整備費等の経費を助成

また、アドバイザーを設置し、特例子会社の設立を考える企業に対して手続き等に関する助言を行い、設立を支援

〈実施方法〉（一財）兵庫県雇用開発協会で実施

【助成金メニュー】

	特例子会社設立助成	事業協同組合設立助成	雇用拡大助成 (障害者の新規雇用)
対 象	中堅・中小企業	中小企業	特例子会社・事業協同組合
助 成 率	1/2	2/3	1/2
上 限 額	5,000千円	5,000千円	1人目/1,000千円(重度2,000千円) 2人目~/100千円(重度500千円)

【特例子会社設立助成の実績】（令和5年8月末時点）

年度	件数	新規雇用者数	助成額
R4	1件	5人	5,000千円
R5	0件	0人	0千円

〔参考〕 県内特例子会社の設置状況 39社（令和5年8月末時点）

② 障害者雇用拡大支援事業（令和5年度予算8,721千円）

中小企業の障害者雇用促進に向け、専門員による相談支援やセミナー等を実施

〈実施内容〉 (ア) 障害者雇用に関する相談支援

(イ) 先進企業見学会や障害者雇用促進セミナーの開催

(ウ) 障害者雇用啓発のためのワークショップの開催

〈実施方法〉（一財）兵庫県雇用開発協会に委託

【実 績】（令和5年8月末時点）

年度	相談支援（訪問件数）	セミナー等	
		実施回数	参加者数
R4	50件	7回	172人
R5	24件	2回	40人

③ ひょうご障害者ワークフォーラムの開催 (令和5年度予算1,143千円)

就労を希望する障害者やその支援者、障害者の雇用を考える企業を対象としたフォーラムを開催。企業ブースや関係機関の相談コーナーを設置するほか、オンラインを活用した情報提供も実施

【実績】

年度	開催日	開催場所	参加人数	参加企業数
R4	11月15日	神戸国際展示場	530人	21社
R5	11月14日(予定)	神戸国際展示場	—	22社(予定)

④ 障がい者雇用フェスタひょうごの開催 (令和5年度予算445千円)

9月の「障害者雇用支援月間」に合わせ、障害者を積極的に多数雇用する事業所や長年にわたり模範的職業人として勤務する障害者を表彰。併せて、企業の先進事例紹介、就労支援者等による講演を実施

【実績】

年度	開催日	参加者数	表彰	
			障害者雇用優良事業所	優秀勤労障害者
R4	9月15日	194人	7事業所	26人
R5	9月15日	185人	6事業所	22人



[ワークフォーラムの様子]



[障がい者雇用フェスタの様子]

(2) 障害者への就労・定着支援

① ひょうごジョブコーチ推進事業

(令和5年度予算33,816千円)

障害者の就労・職場定着支援の充実を図るため、県独自制度のジョブコーチが障害者の職場を訪問し、個々の特性を踏まえた専門的な伴走型支援を実施

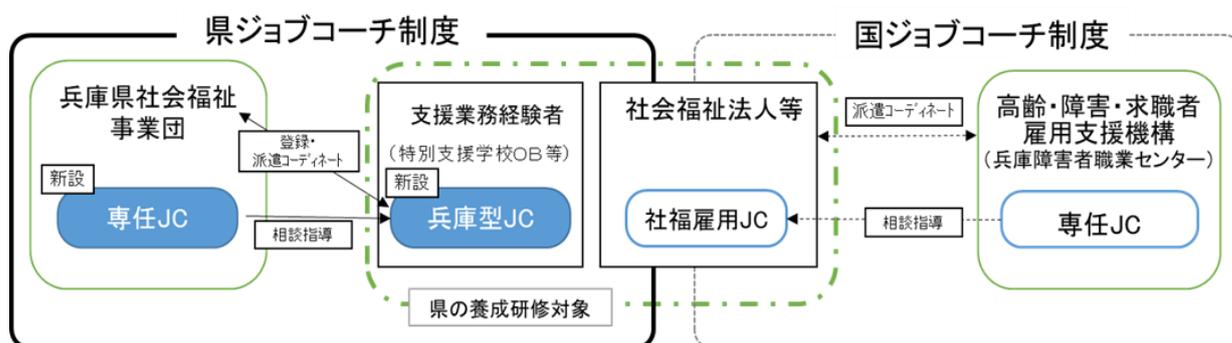
<実施内容> (ア) 養成

国の定める養成研修を実施し、兵庫型ジョブコーチ等を養成

(イ) 派遣

兵庫型ジョブコーチまたは専任ジョブコーチが企業に出向き障害者及び企業双方に対する支援を実施

<実施方法> (社福) 兵庫県社会福祉事業団に委託



※県ジョブコーチ制度は、短時間勤務を対象とするなど、国の制度よりも柔軟に運用

【実績】(令和5年8月末時点)

<養成研修実績>

年度	日程	養成者数
R4	令和4年8月22日～31日	18人
	令和5年1月10日～19日	17人
R5	令和5年8月28日～9月5日	33人

<ジョブコーチ支援実績>

年度	専任ジョブコーチ (2人)	兵庫型ジョブコーチ (25人)
R4	170回	1,169回
R5	60回	486回

② 障害者雇用就業・定着拡大推進事業

(令和5年度予算49,153千円)

県内10か所の障害者就業・生活支援センターに推進員を配置し、実習・就職先の開拓や就職相談等を実施するほか、特に支援が必要とされる精神・発達障害者等に対し就労や職場での定着を支援

<実施内容>

- (ア) 基本的な労働習慣の習得に向けた個別支援
- (イ) 職務適性判断、職場実習調整
- (ウ) 精神、発達障害者の就労定着に向けた個別支援
- (エ) 就職先となる企業等の開拓
- (オ) 障害者、雇用者双方に対する継続的な相談対応 等

【センター一覧】（県内10箇所）

地域	実施機関	地域	実施機関
神戸	(社福)神戸聖隷福祉事業団(神戸市)	中播磨	(社福)姫路市社会福祉事業団(姫路市)
阪神南	(社福)三田谷治療教育院(芦屋市)	西播磨	(社福)兵庫県社会福祉事業団(赤穂市)
阪神北	(社福)いたみ杉の子(伊丹市)	但馬	(特非)ぷろじえくとPlus(豊岡市)
東播磨	(社福)加古川はぐるま福祉会(加古川市)	丹波	(社福)わかたけ福祉会(丹波篠山市)
北播磨	(社福)兵庫県社会福祉事業団(三木市)	淡路	(社福)兵庫県社会福祉事業団(洲本市)

【実績】（令和5年6月末時点）※四半期毎

年度	登録者数	相談件数	就職者数
R4	6,439人	9,620件	401人
R5	6,543人	2,543件	201人

③ 障害者体験ワーク事業

（令和5年度予算 8,961千円）

短期間の簡易な就業体験を通じ、特別支援学校生や福祉的就労従事者の就職活動に向けた意識を醸成

〈実施内容〉

- (ア) 受入事業所とのマッチング、専門家によるサポート
- (イ) 特別支援学校への出前講義及び出前ワーク（軽作業）
- (ウ) 体験ワーク発表会、事例集の作成

〈体験業務〉

清掃、商品陳列、PC入力、製造補助、花壇植栽等

〈実施方法〉

（社福）兵庫県社会福祉事業団に委託

【実績】（令和5年8月末時点）

年度	登録事業所数	受入事業所数（延べ）	就労体験参加者数	職場見学参加者数
R4	847事業所	243事業所	216人	39人
R5	859事業所	108事業所	102人	16人



〔企業でのしごと体験の様子（小売業）〕



〔図書館でのしごと体験の様子〕

4 保護観察対象者等の雇用・就労促進

保護観察対象者等の社会的自立には就労が重要であることから、就労に向けた支援を実施するとともに、雇用基盤整備を促進

(1) 刑務所出所者等雇用導入促進事業 (令和5年度予算7,040千円)

刑務所出所者等の社会復帰を促進するため、刑務所出所者等を新たに雇用する民間事業者に対し、人件費等の一部を補助

〈補助対象〉

ア 国の刑務所出所者等就労奨励金の支給対象となった協力雇用主

イ コレワークを通じて矯正施設出所者を雇い入れた雇用主

※ ア、イとも、原則、初めて刑務所出所者等を雇用する雇用主に限る。

ウ アにより補助対象となった雇用主が、イによる対象者を初めて雇い入れた場合

〈対象経費〉 雇用開始後最大4ヶ月分の給与、研修費

〈補助額〉 (給与7万円+研修費1万円) × 4ヶ月 = 32万円

【実績】(令和5年8月末時点)

年度	補助事業所	雇用人数	(うち継続雇用者)
R4	16事業所	16人	(12人)
R5	5事業所	5人	(5人)

〈参考〉 刑務所出所者等就労奨励金の概要 (国事業)

保護観察対象者等を雇用し、生活指導を行う雇用主に最大72万円の奨励金支給

〈支給対象〉 保護観察対象者等を雇用する協力雇用主

〈支給額〉 最大72万 (雇用開始後6ヶ月間：8万円/月+12ヶ月目まで3ヶ月毎に12万円)

(2) 保護観察対象者等雇用拡大促進事業 (令和5年度予算6,755千円)

保護観察対象者等の雇用基盤整備を行っているNPO法人に就労支援員を配置し、協力雇用主の拡大や事業主支援のほか、啓発のためのシンポジウムを開催

〈事業内容〉 ア 協力雇用主に対する受入れ拡大、新規企業開拓

イ 事業主向けセミナーや施設見学会の実施

ウ 社会の意識啓発に向けたシンポジウムの開催

〈実施方法〉 NPO法人兵庫県就労支援事業者機構に委託

【実績】 更生保護就労支援シンポジウム

年度	開催日	テーマ	参加者数
R4	11月9日	寄り添いによる信頼の構築	118人
R5	11月9日 (予定)	誰も取り残さない ～安全安心な社会と安定した生活のために～	—



[更生保護就労支援シンポジウムの様子]

(3) 保護観察対象者等就労支援プログラム事業 (令和5年度予算6,364千円)

保護観察対象者等の就労を促すため、民間人材教育会社での研修や就労体験を実施

〈事業内容〉 研修 (1ヶ月 賃金15万円支給) + 就職支援 (最長3ヶ月)

※研修: 1週目: ビジネス基礎研修 (座学)、2週目~1ヶ月: 職場体験

〈実施方法〉 民間人材教育会社に委託

【実績】 (令和5年8月末時点)

年度	参加者数	就職者数 (うち正規雇用)
R4	5人	2人 (1人)
R5	4人	1人 (1人)

5 地域しごとサポートセンター事業の実施

(1) 地域しごとサポートセンター事業 (令和5年度予算 38,239千円)

地域住民や地域団体等がビジネス的手法により地域課題解決を図る取組を支援する拠点として「地域しごとサポートセンター」を設置

〈地域しごとサポートセンターの設置〉

所管地域	実施団体
神戸	(特非) コミュニティ・サポートセンター神戸
阪神	(特非) コミュニティ事業支援ネット・宝塚NPOセンター共同事業体
播磨	(特非) 姫路コンベンションサポート
但馬	労働者協同組合はんしんワーカーズコープ
丹波	(一社) 丹波篠山キャピタル
淡路	(株) シマトワークス

〈補助率〉 10/10以内

〈実施事業〉 ア 地域課題の開拓・解決支援 (起業支援、普及・実践セミナーの開催等)

イ 地域しごとへの就労支援 (相談、職業紹介等)

ウ 拠点ネットワーク化

【実績】 (令和5年8月末時点)

年度	相談者数	起業支援	
		起業団体数	従事者数 [※]
R5	1,712人	36団体	54人

※従事者数: 団体の起業者及び団体の業務に従事し、最低賃金を上回る報酬を支給された者



〔地域しごとサポートセンター丹波の除幕式の様子〕